

情報教育の目標で分類した学習活動（小学校段階）一覧

情報活用能力	想定される下位目標項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
情報活用の実践力	情報の効果的な収集	先生や身近な人に尋ねたことを、必要な事柄とそうでない事柄とに区別する（国語）	先生や身近な人に尋ねたことを必要な事柄とそうでない事柄とに区別する（国語）	記録文や学級新聞に書く事柄を収集したり、選択したりする（国語）	記録文や学級新聞に書く事柄を収集したり、選択したりする（国語）	本の分類、索引の使い方、事典の特色など理解した上で、資料の入手先や必要な情報を得る観点を考え、図書資料を選んで読む（国語）	本の分類、索引の使い方、事典の特色など理解した上で、資料の入手先や必要な情報を得る観点を考え、図書資料を選んで読む（国語）		
				見学やインタビュー内容の要点などをメモに取りながら聞く（国語）	見学やインタビュー内容の要点などをメモに取りながら聞く（国語）	我が国の国土や産業に関する社会的な事象を調べるために情報手段を活用する（社会）	我が国の歴史的な事象、政治の働き、世界中の日本の役割を調べるために情報手段を活用する（社会）		
				身近な地域の様子、生産や販売について見学したり、絵地図、地図、写真等の資料を活用しながら調査する（社会）	地域社会の健康・安全な生活を支える仕組みや先人の働き等について、施設・工場を見学、働く人々等への聞き取り調査、資料の活用等によって調べる（社会）	我が国の国土や産業に関する社会的な事象を調べるために情報手段を活用する（社会）	我が国の歴史的な事象、政治の働き、世界中の日本の役割を調べるために情報手段を活用する（社会）		
				地域の人々の生活の移り変わりについて、博物館・資料館を見学したり地域の人の話を聞いて調べる。（社会）	県（都、道、府）の様子や自分たちの市（区、町、村）の地理的位置等について、地図・立体地図などを活用したり、役所や取り上げた地域の小学校へ問い合わせたりして資料を集めたりして、調べる（社会）	我が国の国土や産業に関する社会的な事象を調べるために情報手段を活用する（社会）	我が国の歴史的な事象、政治の働き、世界中の日本の役割を調べるために情報手段を活用する（社会）		
	情報の効果的な整理・表現			物事を整理分類して数え、絵などを用いた簡単な表やグラフなどの形に表す（算数）	日時、場所などの簡単な観点から分類の項目を選び、整理して表や棒グラフに表す（算数）	二つの観点から物事を整理したり、論理的に起こり得る場合を調べたり、落ちや科量なりがないように考えたりする（算数）	書く必要のある事柄を適切に取捨・選択したり、整理したりして、意見文や紹介文を書く（国語）	書く必要のある事柄を適切に取捨・選択したり、整理したりして、意見文や紹介文を書く（国語）	
					手紙文や発表の場を想定した記録文や学級新聞など、相手や目的に応じて、適切に書く（国語）	手紙文や発表の場を想定した記録文や学級新聞など、相手や目的に応じて、適切に書く（国語）	目的に応じて資料を分類整理し、それを円グラフ、棒グラフを用いて表す（算数）	コンピュータなどを用いて表やグラフをわかりやすく表現する（算数）	
					身近な地域の様子、生産や販売について集めた情報を白地図や地図に整理する（社会）	折れ線グラフの統計的な特徴や傾向をよみとったり調べたりする（算数）	コンピュータなどを用いて表やグラフをわかりやすく表現する（算数）	平均を用いて、身の回りにある事柄について統計的な考察をしたり表現したりする（算数）	
					地域の人々の生活の移り変わりについて、調べたことを年表にまとめる（社会）	地域社会の健康・安全な生活を支える仕組みや先人の働き等について集めた情報を、地図・グラフ・文章等に整理する（社会）	国土の自然等の様子や産業について社会的な事象を具体的に調査し、地図・統計等の各種基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを目的に応じた方法で表現する（社会）		
情報表現の効果的な伝え方				見出しを付けたり記事を書いたり、翻付をしたりしながら中心を明確にして学級新聞などを書く（国語）	見出しを付けたり記事を書いたり、翻付をしたりしながら中心を明確にして学級新聞などを書く（国語）	限られた時間の中で最大限に伝えられるような話の組み立てや言葉遣いで話す（国語）	限られた時間の中で最大限に伝えられるような話の組み立てや言葉遣いで話す（国語）		
				身近な出来事や調べた事柄を資料や具体物などを利用してわかりやすく伝える（国語）	身近な出来事や調べた事柄を資料や具体物などを利用してわかりやすく伝える（国語）	通信などの産業に携わる人々が、情報を正確に速くわかりやすく伝えるために行っている工夫や努力を知る（社会）			
情報手段の操作				コンピュータの基本操作であるファイル操作を通して、データの読み書きの方法とファイルの名前について理解する（総合）	キーボードを使った日本語入力をする（総合）				
				デジタルカメラなどを使って後に利用する情報を収集する（総合）	ワープロなどで資料をまとめて印刷する（総合）				
情報の科学的な理解	情報手段の特性の理解					ソフトウェアごとの特徴を知り、目的に応じてソフトウェアを選ぶ（総合）	コンピュータが扱うデータには大きさがあることを知る（総合）		
	表現された情報の意図に対する判断					情報化の進展に伴い、多様な情報手段により多種多様な情報が生み出され提供されること、それによって国民生活に様々な影響をもたらしていることを考える（社会）	メディアからの情報には発信者の意図があり、情報を受ける側が情報の判断をする必要があることを知る（総合）		
情報社会に参画する態度	情報社会における安全					ネットワーク上には正しくない情報や危険な情報もあることを知る（総合）	不適切な情報や不正なサイトへの正しい対処法を知る（総合）		
	情報社会のしくみ					通信などの産業が国民の日常生活や産業活動にとって欠かすことのできない様々な情報を収集し提供していることや、それらの産業が国民生活の向上や産業の発展に大きな役割を果たしていることを考える（社会）	国際化の進展の背景には、容易に情報のやりとりができる情報通信ネットワークの発展があることを知る（総合）		
	健全な情報社会への貢献					ネットワークの先には人がいることを意識した、相手の立場に立った適切なコミュニケーションの大切さを知る（総合）	著作権や知的財産権を理解し、これらの権利を守ることがわかる（総合）		

太字 学習指導要領に存在する文言のうち、情報活用能力の育成に深く資すると判断できるもの

細字 学習指導要領に存在する文言のうち、情報活用能力の育成に資する可能性があるとして判断できるもの

太字 総合的な学習の時間における、情報活用能力の育成のための学習活動として望ましいと考えられるもの